

ロンドン、2018年9月25日

米国のゲルダウ特殊鋼ノースアメリカ社向け電気炉製鋼工場近代化工事を受注

- 既存の電気アーク炉を近代化
- ツインレードル炉とマテリアルハンドリングシステムを新設
- 年産能力を16万トン増強
- 高度な自動化設備とロボットシステム「LiquiRob（リキロボ）」の使用によりプラント全体を最適化
- ロボットシステム「LiquiRob（リキロボ）」により作業員の安全性をさらに向上

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、米国のゲルダウ特殊鋼ノースアメリカ社（Gerdau Special Steel North America）からミシガン州モンローにある電気炉製鋼工場の近代化工事を受注しました。年間16万トンの圧延能力増強を目指す本プロジェクトでは、既存の電気アーク炉を近代化し、ツインレードル炉とマテリアルハンドリングシステムを新設します。さらに工場全体にわたる自動化とロボットシステム「LiquiRob（リキロボ）」の採用により生産性と信頼性が向上、工場のワークフローの最適化と操業コスト削減が実現し、同時に作業員の安全性も向上します。このレードル炉とマテリアルハンドリングシステムは2019年末に、近代化される電気アーク炉は2020年中頃に、それぞれ運転開始の予定です。

ゲルダウ特殊鋼ノースアメリカ社は、主に自動車産業で使用される特殊棒鋼を製造する大手メーカーで、このプロジェクトは合計約8千万ドルの投資プロジェクトの一環です。

当社は電気アーク炉、110トンのツインレードル炉、マテリアルハンドリングシステム及び鋼構造物などの各処理プロセスについてのエンジニアリングと機器納入、関連する電気設備と自動化装置、交換機を含む電源供給機器などの納入、さらに工場全体にわたるプロセス完全自動化、すべての設備の据付けと試運転指導を担当します。

温度測定やサンプル採取など、危険性のある作業は3基のリキロボが処理します。砂充填自動化、秤量システムおよび出鋼口用自動マニピュレーターなどのソリューションにより電気アーク炉の運転が最適化されます。



米国のゲルダウ特殊鋼ノースアメリカ社のモンロー電気炉製鋼工場稼働中の電気アーク炉。プライメタルズテクノロジーズはこの電気アーク炉を近代化し、新しいツインレードル炉とマテリアルハンドリングシステムを納入（写真提供：ゲルダウ特殊鋼ノースアメリカ社）

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2018091690jp

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com